

令和4年度：保育所における自己点検・自己評価

社会福祉法人 新世会 いくり保育園

令和5年3月31日 記入

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

◎ 保育の計画と編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向けて、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				前年度の反省や保護者の願いを反映させながら保育目標を設定し、職員が同じ目的に向かって保育を展開することができた。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				
	(4) 目標は前年度の反省を生かしているか。	○				
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				研修で得たことや日々の保育の振り返りを大切にしながら保育に当たり、年度末には1年の取り組みを基に細かく指導計画を見直した。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行で良いか。	○				各クラスごとに子どもの育ちに応じ、1日の保育の流れを意識しながら保育を行うことができた。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				コロナ禍での保育の在り方を考え、分散したり、人数制限を設けるなどしながら、通年行事が中止とならないように進めることができた。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に充分生かしているか。		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				

◎ 保育の計画と編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
組織運営	(1) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			職員間での業務量に差が生じてしまうところもあった。各係の業務の進捗状況や個別の業務量などにもより目を向けていきたい。
	(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設運営にかかわっているか。		○			
	(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。		○			
	(4) 職員の意見を聞いたり、話し合う機会を定期的に持っているか。	○				
保健安全	(1) 避難訓練・交通安全指導を行い、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				警察・消防・市役所等の関係各機関の協力を頂きながら連携を図ることができた。
	(2) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
	(3) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係各機関等と連携を図っているか。	○				
	(4) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○				
食事	(1) 子ども達が楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか。		○			今年度より管理栄養士を配置したので、次年度はさらに食育に力を入れ、取り組んでいきたい。
	(2) アレルギー疾患などを持つ子に対し、主治医からの指示を得て適切な対応を行っているか。	○				
	(3) 間違いのないよう個別のトレーや食器等で分け、調理員同士や保育士と確認している。	○				
環境	(1) 園内の清掃がなされ、清潔に保たれた環境で子ども達が心地よく過ごせるように配慮しているか。	○				園内の衛生面・安全面については委員会を中心に十分な配慮ができた。
	(2) 園内外の衛生面・安全面に配慮しているか。	○				
	(3) 園内に子ども達が季節感を味わえるような工夫をしているか。		○			
園内外の研修	(1) 各研修会・講習会への参加体制の充実を図っているか。	○				今年度も研修会がオンライン開催になったことも伴い、多くの研修に参加することができた。
	(2) 研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○				
子育て支援	(1) 送迎の際の対話や連絡事項の記載など日常的な情報交換に加えて、別の機会に相談に応じて個別面談を行っているか。	○				年2回の個別面談では保護者と十分に対話をし、相互理解を図ることができた。また、電話やおたより帳での育児相談等にも丁寧にかかわることができた。
	(2) 家庭の状況や保護者との情報交換が必要に応じて、関係職員に周知されているか。	○				
	(3) 保育士は日々、子どもや保護者の様子に注視し、虐待の予防や早期発見に努めているか。	○				
	(4) 予め年間行事の目標を知らせ、保護者が保育参加の予定を立てやすくしている。	○				

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
地域との連携	(1) 地域の関係機関等と連携ができているか。	○				今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で地域の方々との直接的な交流は難しく、また、ボランティアや保育体験の受け入れ要請も無かった。
	(2) イベントや祭りなどを通し、地域の方々と交流できる機会を設けているか。			○		
	(3) ボランティア・体験保育の方を積極的に受け入れているか。		○			
	(4) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		
開かれた保育所づくり	(1) 地域子育て支援センターとして、園庭や保育室を開放しているか。				○	ホームページや園だより等で園の情報を発信することができた。また、今年度は保護者に向けて子どもの保育の様子を掲示板で毎日お伝えすることもできた。次年度も引き続き、保育の様子や園の取り組みについて積極的に知らせていきたい。
	(2) 地域の子ども達同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことが出来るような場の設定を行っているか。				○	
	(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
	(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○				
	(5) 園だより・ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				
	(6) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		
	(7) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	
	(8) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○				